

塩竈市議会だより

平成22年9月定例会号

- 定例会のあらまし、議案審議の概要 P 1
- 市政に対する一般質問、委員長報告、討論 P 2
- 市政に対する一般質問、委員長報告、討論 P 3
- 議案等賛否一覧表、アンケート調査等 P 4

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(364)1214 Nov.2010 (平成22年11月)
 ホームページアドレス <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/html/about/gikai/index.html>

「ミニミニ遊びの広場」 (つどいの広場)



定例会会議日程

(本会議)	9月6日	会期の決定、諸般の報告、議案説明、総括質疑、議案付託、人事案件採決
(委員会)	9月8日	産業建設常任委員会
	9月9日	総務教育常任委員会
	9月10日	民生常任委員会
	9月13日	議会運営委員会、塩竈市議会基本条例策定特別委員会
	9月14~17日	平成21年度決算特別委員会
	9月22日	議会運営委員会
(本会議)	9月21-22日	市政に対する一般質問
	9月28日	委員長報告、議案審議及び採決、議員提出議案審議及び採決、議案説明、総括質疑、議案付託

定例会のあらまし

平成22年第3回市議会定例会は、9月6日から28日までの23日間の会期で開催されました。初日の本会議では、市長より提出議案の説明を受け、総括質疑後、平成21年度決算については、決算特別委員会に、その他の議案については、所管の常任委員会に付託されました。また、人事案件2件が即日可決されました。各常任委員会と議会運営委員会が5日間開催され、付託された議案と継続審査中の議案の審査を行いました。決算特別委員会は4日間開催され、決算の審査を行いました。本会議2日目と3日目は、7名の議員が市政に対する一般質問を行い、当局の見解をいただきました。定例会最終日には、各常任委員長、議会運営委員長及び決算特別委員長から審査結果の報告を受け、議案14件を可決、決算2件を認定、継続審査となっていた議員提出議案1件を可決しました。また、市長より追加提出議案2件の説明を受け、総括質疑後、塩竈市長期総合計画特別委員会を設置のうえ、付託し、継続審査として閉会しました。(議案の件名と審議結果は4ページ)

平成22年9月定例会 補正予算3億807万円を可決

9月定例会の一般会計・特別・企業会計補正予算額は、3億807万円、補正後の予算総額は43億8855万円となりました。一般会計の補正では、子育て支援、防災対策、地域経済の活性化に対応する経費として、「ヒブワクチン予防接種助成事業」、「保育所管理運営事業費」、「集会所耐震化事業」、「本塩釜駅前駐車場管理事業」などを主な内容とした1億419万円が追加されました。特別会計の補正では、交通事業会計の県の補助採択に伴う「離島航路活性化支援事業」の経費として150万円を追加するなど、5つの特別会計で計1億5188万円が追加されました。また企業会計の補正では、水道事業会計のチリ中部沿岸地震津波による「浦戸海底配水管復旧事業」の経費として5200万円が追加されました。

その他、「塩竈市駐車場条例の一部を改正する条例」、「塩竈市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例」など条例改正4件、及び「工事請負契約の締結について」、「財産の取得について」など3件の議案が可決され、継続審査中の議員提出議案「塩竈市議会議員定数条例の一部を改正する条例」1件が可決されました。

また、定例会最終日には、「第5次塩竈市長期総合計画基本構想を定めることについて」など2件の議案について市長より追加提案され、提案理由の説明の後、塩竈市長期総合計画特別委員会を設置のうえ、同特別委員会に付託し、閉会中の継続審査としました。



本塩釜駅前交通広場

決算特別委員会で決算を認定

平成21年度の各会計決算の審査にあたっては、委員長に阿部かほる委員、副委員長に佐藤英治委員を選出し、慎重な審査を行いました。

(詳細は3ページ)

質 問

本会議における一般質問は、9月21日、22日の2日間に7人の議員が行いました。ここでは一般質問の中から一つ取り上げて、その要旨を掲載しています。なお、各議員が行った一般質問の項目も掲載しています。



公明党
浅野敏江

一般質問…①福祉行政 ②観光と商業の活性化

旧浦戸第二小学校の活用を

議員 浦戸で介護を受けられるような施設が必要と考えるが、法律の規制があり新たに大きな建造物を建てることはできない。旧浦戸第二小学校を利用できないか。また各島々の居宅介護サービスができる拠点として旧浦戸第二小学校の跡地にヘルパーステーションを設置すると同時に元気な高齢者のサロンの空間に利用してはどうか。旧浦戸第二小学校の活用についてのこれまでの取り組み、今後の考えについてお尋ねしたい。

市長 旧浦戸第二小学校の老人福祉施設としての活用については、施設規模や医療機関との連携等の問題からなかなか進展していない。また具体的な活用方策として、現在校舎屋内運動場とも夏場を中心に市民の野外活動、研修等の場として利活用いただいている。高台にあり高齢者の移動手段等の課題があるが、ヘルパーステーションを含め、さらなる有効活用が図れないか、デイサービス、サロンのな事業展開の場としても検討したい。



旧浦戸第二小学校



日本共産党塩竈市議員
曾我三三

一般質問…①浅海漁業者への支援 ②景気対策 ③障がい児福祉 ④介護・高齢者福祉

住宅リフォーム助成事業を

議員 党市議団は「住宅リフォーム助成事業」を行っている岩手県宮古市を視察した。同市では関係団体の要望があり、財政面・個人資産の形成に資する問題をどうクリアするか「地域経済対策事業」と位置づけたことよって取り組みが可能となった。4月1日から実施し8月17日現在で申請件数は1767件、地元業者が行った総工費は8億1680万円、市の事業予算は2億5000万円となり、地元経済への波及効果は高い。本市でも「住宅リフォーム助成事業」の実施を求める。市長の見解は。

市長 現在、宮城県沖地震に対する対策を最優先課題とし「木造住宅耐震改修工事助成事業」に取り組んでいる。住宅のリフォーム助成についてはさまざまな課題があるものと理解しているが、景気回復という最大の課題とともに、議員から紹介のあった宮古市をはじめ他市の状況などをしっかりと勉強させていただきたい。



建築課窓口



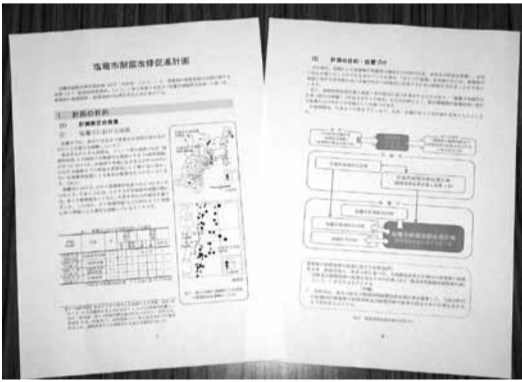
日本共産党塩竈市議員
吉川 弘

一般質問…①国民健康保険 ②木造住宅耐震化 ③都市再生整備計画 ④下肢障がい者の移送費助成

木造住宅の耐震化計画の検証は

議員 宮城県沖地震は10年以内に70%の発生確率となっている。平成20年3月に策定した「塩竈市耐震改修促進計画」の90%の耐震化計画が、現在どう進んでいるのか、計画で定めた住宅戸数、新築・建替え戸数などの数値は、この間の推移でどうだったのか検証すべきと考える。これらの数値目標が違ってきたら、平成27年度までの制度活用による2377件の耐震化目標も違ってくる。市長の見解は。

市長 この計画では、平成27年度までの住宅戸数が減少するものと考えられていたが現在増加しており、逆に新築戸数は計画値に対し実績の方が減少傾向を示している。また建替え戸数は、計画値を大幅に上回るものと見込んでいる。平成22年度は計画期間のほぼ中間時点となるので、平成16年から20年の実績を踏まえた計画値の見直しを行い、改めて議会へ説明し、平成27年度の耐震化率90%を達成できるよう修正を行っていきたい。



塩竈市耐震改修促進計画



日本共産党塩竈市議員
伊勢由典

一般質問…①塩釜港 ②市内商店振興策 ③介護保険事業計画 ④医療費無料化ほか

港貞山地区の整備は

議員 7月に塩釜商工会議所三役連名で、塩釜港の「海上防災拠点整備」に関する要望書が塩釜地区広域行政連絡協議会会長の塩竈市長に提出された。「塩釜のみならずと考える会」が検討、集約した意見・提案が平成20年12月の「仙台塩釜港湾計画」改定に反映され、貞山地区の岸壁整備の他、港貞山地区が「海上防災関連ゾーン」に位置づけられたが、海上防災ゾーンの国県の動向進展がみられない。水深9m航路しゅんせつの時期との2点を市長に聞く。

市長 要望書にある海上防災基地の必要性・重要性は、市として十分認識しており、早速に整備が図られるよう既に国県に働きかけている。今後は塩釜地区広域行政連絡協議会等で要望内容の共通認識を深め検討を行い、協議会の要請事項に盛り込むことなどを踏まえていきたい。航路しゅんせつは水深7.5mの暫定しゅんせつ工事が行われているが、計画の水深9m実現に向けて、国県に積極的に働きかけていきたい。



港貞山地区付近

委員長報告

9月定例会において、議案14件が各委員会に付託され、また継続審査中の議員提出議案が慎重に審査が行われました。

委員長報告の要旨は次のとおりです。



総務教育常任委員長 伊勢由典

議案第52・53号、第60・62号については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

「財産の取得に対する要望意見」

○財産の取得は、塩竈市土地開発公社の経営健全化計画の一環として、公社所有地である事業用地を取得しようとするものである。取得後の有効的な利用は慎重に検討し、適正な管理に努められたい。



民生常任委員長 浅野敏江

議案第51号、第53・58号については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

「一般会計補正予算に対する要望意見」

○集会所耐震化事業は、市内の集会所24施設すべて耐震基準を下回ることに判明し、18施設の耐震改修工事を実施するものである。残り6施設は建て替え等で保留するが、すべての集会所で耐震改修工事がすみやかに実施されるよう管理者及び利用者等と協議、調整等し鋭意取り組まれない。



産業建設常任委員長 小野絹子

議案第49・50号、第53号、第59号については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

「一般会計補正予算に対する要望意見」

○本塩釜駅前駐車場整備は、本塩釜駅前駐車場を整備し、利便性と快適性を高め、中心市街地の活性化を図るものである。駐車場の整備にあたっては、周辺駐車場と調和のとれた公共駐車場としての役割や責務を十分に考慮され、駐車場の効率的な管理・運営に努められたい。



議会運営委員長 伊藤博章

議案提出議案第3号「塩竈市議会

議員定数条例の一部を改正する条例」については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

「意見」

○議員定数の削減は、社会的な環境を踏まえ、議員自らも行動することが必要であり、市議会に対する市民意識調査結果で示された意見に添えるためにも、議員定数を18人とすることは妥当である。

○議員定数が削減された場合、議会に市民の声が反映されにくくなり、委員会の機能低下も懸念される。行政改革の観点からの削減を目的とした議論は問題であり、特別委員会を設置し、慎重に審査することが必要である。

討 論

議員提出議案第3号「塩竈市議会議員定数条例の一部を改正する条例」について、討論が行われました。その概要は次のとおりです。(審議結果は原案可決)



反対討論の概要

市民は、議員が市民生活を守る立場で奮闘する議会、議員の資質の向上などを望み、議員削減は求めていない。削減理由に行財政問題をあげているが3名削減の理由や根拠が明確でない。削減は議会本来の機能を低下させ、議会改革とは無縁である。参考人の意見を聞き審査したが非公開の会議は問題であり、市民の理解が得られない議案第3号に反対する。



賛成討論の概要

市財政は大変な事態にあり、議員自ら改革を示すべきとの声がある。市民の負託を受ける議員が先駆けなければ市民の信頼を失う。議員削減を行財政改革に位置づけるべきではなく、市民の声が議会に届かなく民主的ではないというが、議員自らを聖域とすることは市民の代表を否定するものである。議員削減は市民の声、時代の流れ、議会改革の第一歩であると考え、議案第3号に賛成する。

議案等賛否一覧表

○：議案等に対して賛成 欠：欠席
×：議案等に対して反対 -：議長は採決にわりません

議案番号・件名	会派名・議員氏名	公明党			日本共産党塩釜市議団				ニュー市民クラブ					再生クラブ	チェンジしおがま		自民クラブ		市民クラブ	審議結果		
		浅野敏江	小野幸男	嶺岸淳一	曾我ミヨ	中川邦彦	小野絹子	吉川弘	伊勢由典	伊藤栄一	菊地進	阿部かほる	鈴木昭一	鎌田礼二	木村吉雄	佐藤貞夫	東海林京子	伊藤博章	佐藤英治		志賀直哉	香取嗣雄
認定第1号	平成21年度塩竈市一般会計及び各特別会計決算の認定について	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	認定
認定第2号	平成21年度塩竈市立病院事業会計及び塩竈市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	認定
議案第49号	塩竈市駐車場条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第50号	塩竈市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第51号	塩竈市立病院事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第52号	塩竈市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第53号	平成22年度塩竈市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第54号	平成22年度塩竈市交通事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第55号	平成22年度塩竈市国民健康保険事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第56号	平成22年度塩竈市老人保健医療事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第57号	平成22年度塩竈市介護保険事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第58号	平成22年度塩竈市後期高齢者医療事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第59号	平成22年度塩竈市水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第60号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第61号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第62号	損害賠償の額を定め和解することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第63号	公平委員会の委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	同意
議案第64号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	同意
議案第65号	第5次塩竈市長期総合計画基本構想を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	継続審査
議案第66号	第5次塩竈市長期総合計画基本計画を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	継続審査
議員提出議案第3号	塩竈市議会議員定数条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○	原案可決
	議員派遣の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	原案可決

市議会に対する市民意識調査結果

塩竈市議会では、市民にわかりやすく開かれた議会づくりを推進するため、市民の皆様の議会に対する率直な意見・要望をお聞きし、今後さらに議会の活性化と改革に役立てるため今年3月にアンケート調査を実施しました。前号に引き続きその調査結果の一部をお知らせします。

今回は、「市議会の会議を見たり聞いたりしたことがあるか」の質問項目についてお知らせいたします。

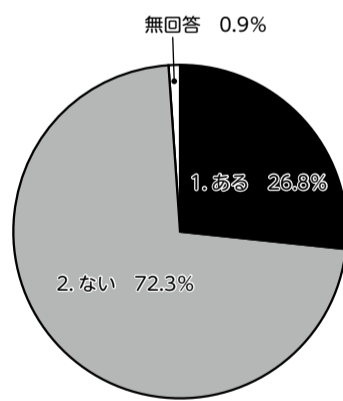
あなたは、市議会の会議を見たり聞いたりしたことはありますかの質問に対し、「ある」は26.8%、「ない」が72.3%であり、7割以上の方が市議会を見たり聞いたりしていない状況です。

「ある」と答えた方にさらに回数をお尋ねすると「5回以下」が最も多く、「11回以上」、「10回以下」と続いています。

この結果を踏まえ、市議会では、市議会を市民の皆様により身近に感じられ、また市議会に市民の皆様の声が反映できる体制づくりに取り組んでいきたいと考えています。市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

※この調査結果は、塩竈市ホームページからご覧になれます。

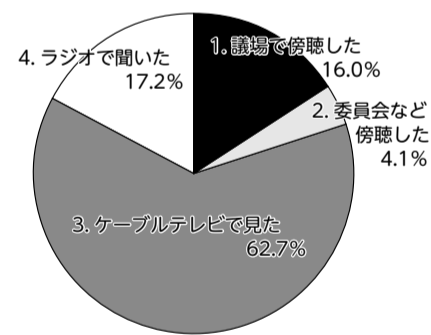
問6 市議会の会議を見たり聞いたりしたことはありますか？



回答	回答数	構成比(%)
1. ある	211	26.8
2. ない	568	72.3
無回答	7	0.9
合計	786	100.0

※ 構成比は端数を四捨五入しているため、合計と一致しない

【ある場合】どのようにして？（複数回答）回数は？



回答	回答数	構成比(%)
1. 議場で傍聴した	39	16.0
2. 委員会などを傍聴した	10	4.1
3. ケーブルテレビで見た	153	62.7
4. ラジオで聞いた	42	17.2
合計	244	100.0

回数	回答数	構成比(%)
1回	26	12.3
5回以下	95	45.0
10回以下	37	17.5
11回以上	39	18.5
無回答	14	6.6
合計	211	100.0

市議会だより第181号をお届いたします。
議会報編集委員会

委員長 伊藤博章
副委員長 浅野由典
委員 伊勢 菊地 敏江
委員 鎌田 礼二

12月7日(火)
開会予定です

次回の定例会は

定例会傍聴のお知らせ

定例会は、年4回（2月・6月・9月・12月）開催されます。

本会議は、一般に公開され、どなたでも傍聴できます。傍聴をされる方は本庁4階の傍聴席へお気軽においでください。

なお、傍聴の際は、携帯電話をお持ちの方は、電源を切ってから入室をお願いいたします。

詳しくは議会事務局調査係までご連絡ください。
電話 364-11214

人事

今定例会において、次の方々が同意されました。

○公平委員会の委員の選任
田中 和弥 氏

○固定資産評価審査委員会の委員の選任
齋藤 榮樹 氏
佐久間 志保子 氏
佐々木 和夫 氏
大友 洋 氏